



Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

世界No.1の総合アルミ板事業の一翼を担うために

— UATH(タイ) 第4次中期経営計画

常務執行役員

UACJ(Thailand) Co., Ltd. 取締役社長

山田 哲也

2024年5月28日

株式会社UACJ



UACJ(Thailand) Co., Ltd.(UATH)の概要

東南アジア地域の基幹工場として34万トンに向けた体制強化を目指す

従業員数

約1,310人

生産品目

缶材、自熱交、
エアコン向けフィン材
その一般材

展開エリア

缶材: 26カ国
自熱交: 12カ国
フィン材: 8カ国

顧客基盤

80社以上

- 東南アジア唯一の最新鋭アルミ圧延工場
- 需要伸長が見込まれるアジア圏へのアクセスの良さ
- 日系企業をはじめとした製缶メーカーとの信頼関係



UACJ (Thailand) Co., Ltd.(タイ)

世界約26カ国
に販売

年間32万トン
の生産体制



投資と販売数量の変遷

旺盛な需要を取り込み、堅実な成長拡大を目指す

2021年度までの投資内容

第1期 (FY2015~16) ... 6万トン/年規模

- ✓ 冷間圧延
- ✓ 表面処理・塗装

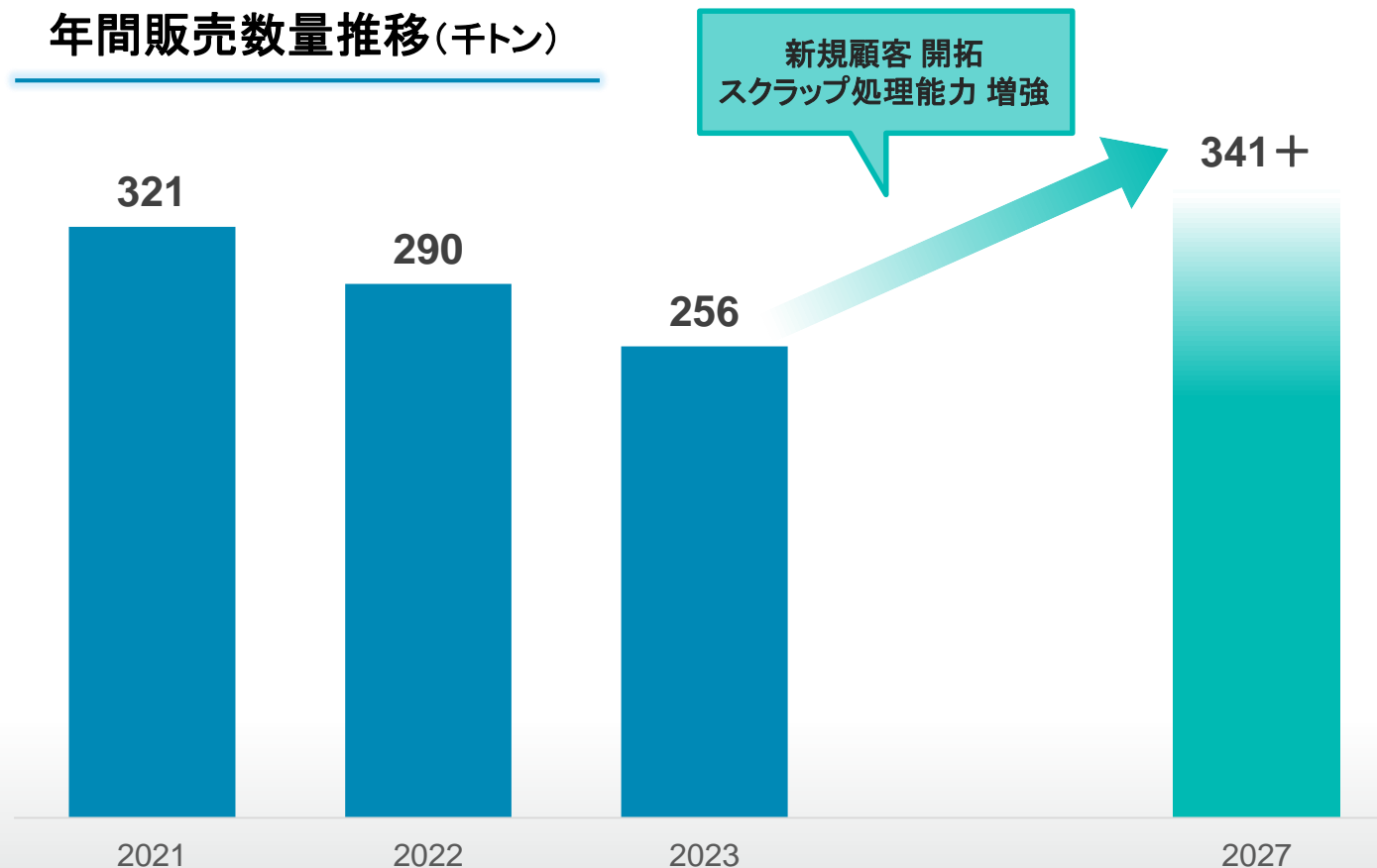
第2期 (FY2017~19) ... 18万トン/年規模へ

- ✓ 鋳造
- ✓ 熱間圧延

第3期 (FY2019~21) ... 32万トン/年規模へ

- ✓ 鋳造 ... 拡大
- ✓ 冷間圧延 ... 拡大
- ✓ 表面処理・塗装 ... 拡大

年間販売数量推移(千トン)



第3次中期経営計画の振り返り

重点方針	重点課題	評価
<p>3期起業の効果を実現しさらに現有設備を徹底活用</p>	<p>3期起業効果32万トン/年を超える生産量に向けた能力向上</p> <p>収益力向上 最適な品種・地域・顧客構成 新品種への取り組み コスト低減</p> <p>スマートファクトリー化の実現 工場運営現地化の実現</p>	<p>◎ 32万トン/年を達成。 36万トン/年を目標に能力向上策を推進中。</p> <p>◎ 需要低調の中でも、販路拡大、コスト低減を進め、収益基盤を強化</p> <p>○ 教育プログラムにおける日本との連携を深め、マネジメント層の現地化を推進</p>
<p>環境負荷低減推進に対応する新技術の追求</p>	<p>リサイクル技術の開発(スクラップ率向上) 環境負荷塗膜技術、缶材軽量化</p> <p>Can to Can Closed Loop の構築 ASI認証*取得(2022年3月取得済み)</p>	<p>◎ 4SWFの建設完了、2024/4稼働開始。 リサイクル技術開発推進中</p> <p>○ Can to Can Closed LoopのASEAN域における浸透施策を進展</p>

第4次中期経営計画に向けての課題

収益性・資産効率性の向上

販売エリア・顧客の拡大、付加価値の追求、CCC短縮、生産性向上、人員の最適化・現地化、リサイクルの推進、コストの変動の適正な転嫁

市場環境変化への対応力の強化

販売エリア・顧客の拡大、UACJとの品種互換性の拡大
Can to Can Closed Loopのさらなる周知、拡大に向けての活動が必須



01

東南アジア唯一のミルとして
存在価値を拡大

ASEANおよび他地域における確実な販売量確保で
起業計画32万t/年の継続

- 東南アジア・オセアニア・インドでの缶材シェア確保
- エアコンフィン材販売の最大化(生産能力の計画的な増強)
- 自熱交材のリサイクル合金切替推進、MONOBRAZE拡販によるシェア確保

Can to Can Loopによる環境貢献で、域内シェア拡大につなげる

- UBC/Class Scrapの域内回収率UP (スクラップ購入の安定化)



02

板事業部生産能力の最大化

既存設備の最大活用による生産能力 36万t/年の実現

- 鋳造能力、冷延能力の最大化
- 缶材生産能力30万t/年
- エアコンフィン材のUACJ/UATH生産最適化

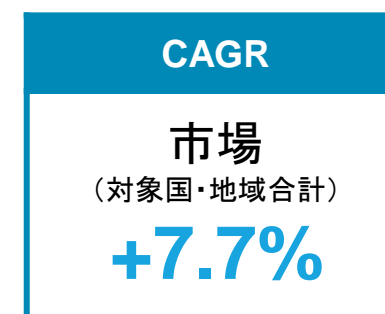
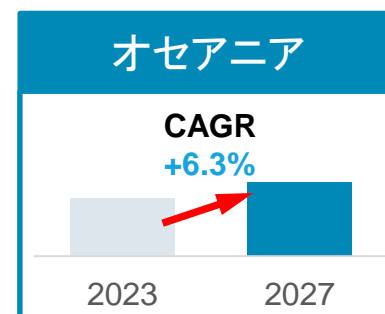
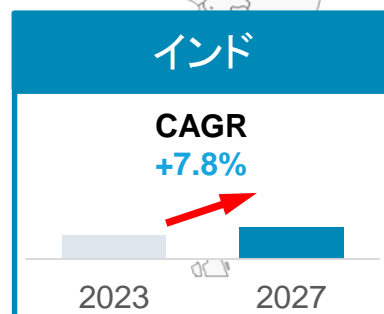
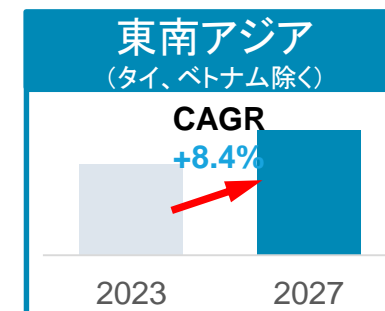
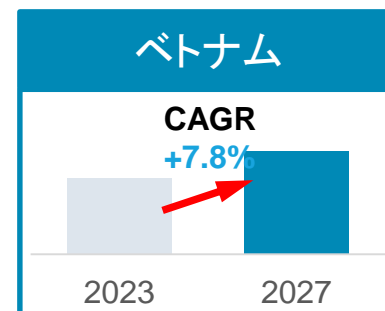
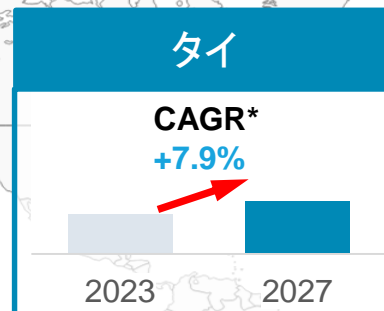
生産余力の活用によるUACJ国内生産支援

- フィン素条一貫生産化で国内純アルミ系薄物生産能力支援

市場環境認識 - 缶材



- ✓ 東南アジアの缶市場は、在庫調整局面からゆるやかに回復
- ✓ インドの缶市場が、経済成長に伴い拡大
- ✓ 環境意識の高まりによるリサイクルへの要請



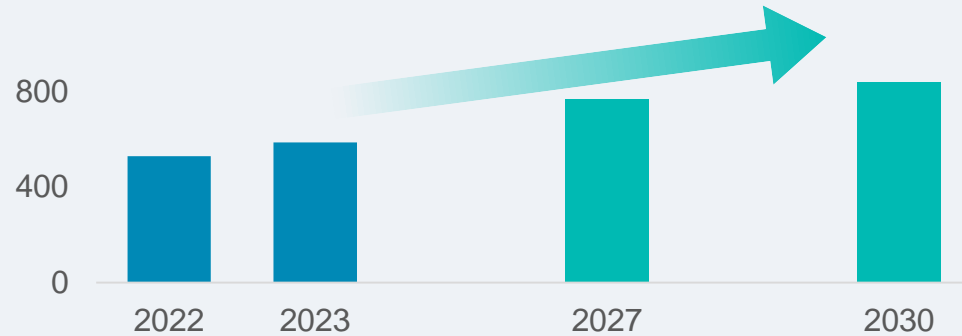
※出典：CRU【Aluminium Beverage Can Sheet Market Outlook March 2024 Report】

市場環境認識と販売戦略 — 熱交材、フィン材

自動車熱交材

電動化による熱マネジメントの必要性が拡大することを背景に
グローバルでの自熱交需要は増加すると予測

グローバルにおける自動車熱交材需要見通し(千トン)

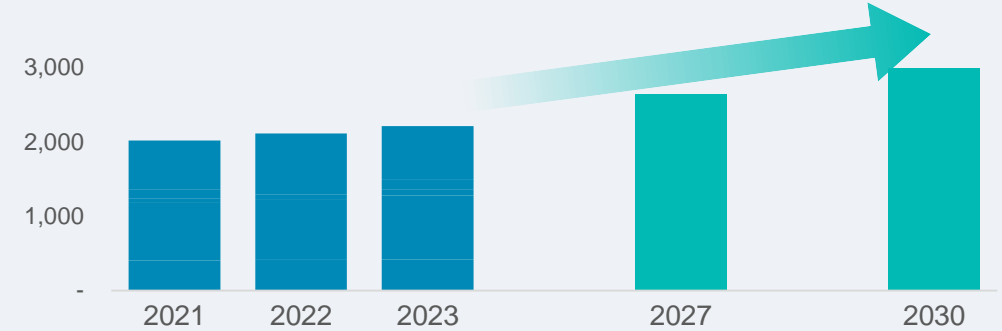


- ✓ 環境負荷低減材等、新規開発品の展開
- ✓ ASEAN、北米市場でのシェア維持、拡大
- ✓ 新世代熱交換器の商機の探索

エアコン用フィン材

世界的な人口の増加、エアコン設置の対象エリア拡大によって
今後も安定的に需要が増加すると予測

エリア別住宅用空調市場見通し(百万台)

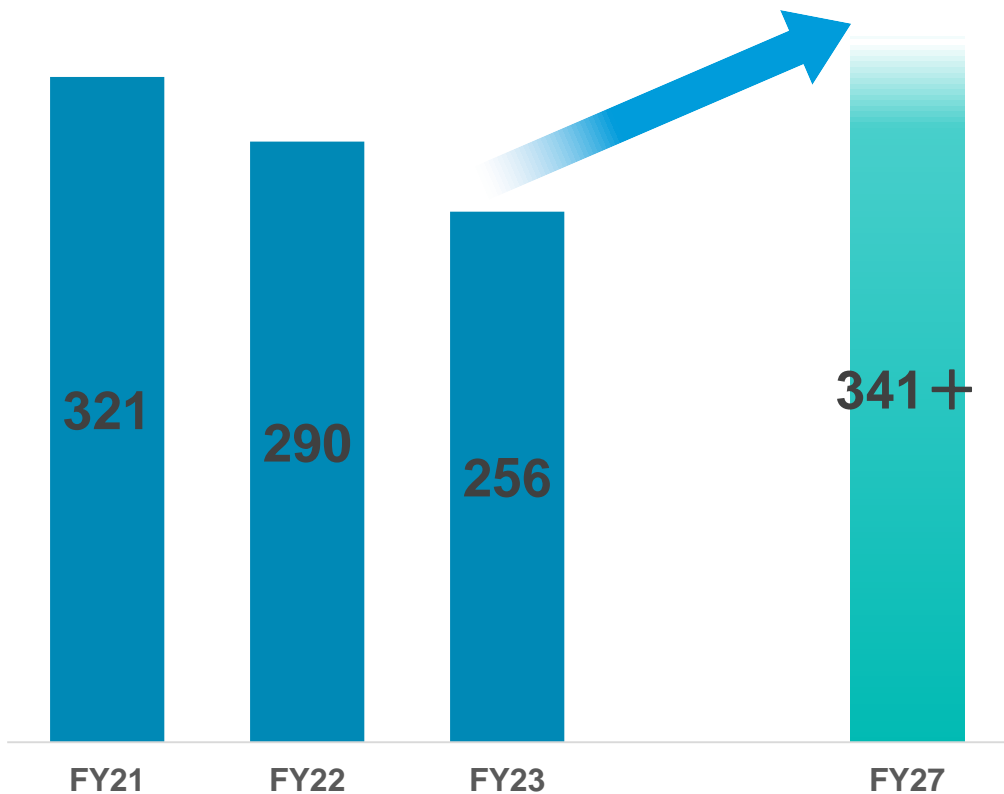


- ✓ 顧客要求に応じた新規塗料の提案、技術サポート
- ✓ ASEAN、北米、欧州でのシェア拡大
- ✓ その他地域への拡販

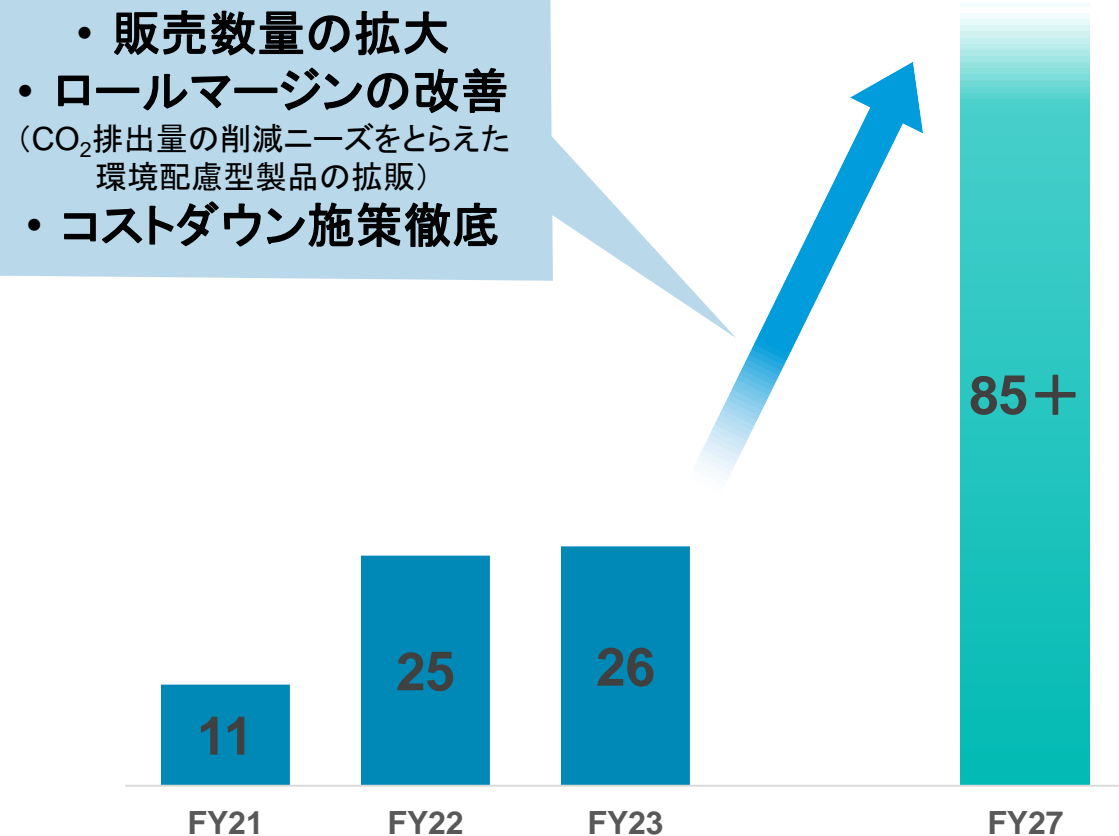
販売数量、事業利益計画

インド、中東・アフリカの需要を取り込み、第4次中計期間での収益性改善を図る

販売数量 (千トン)



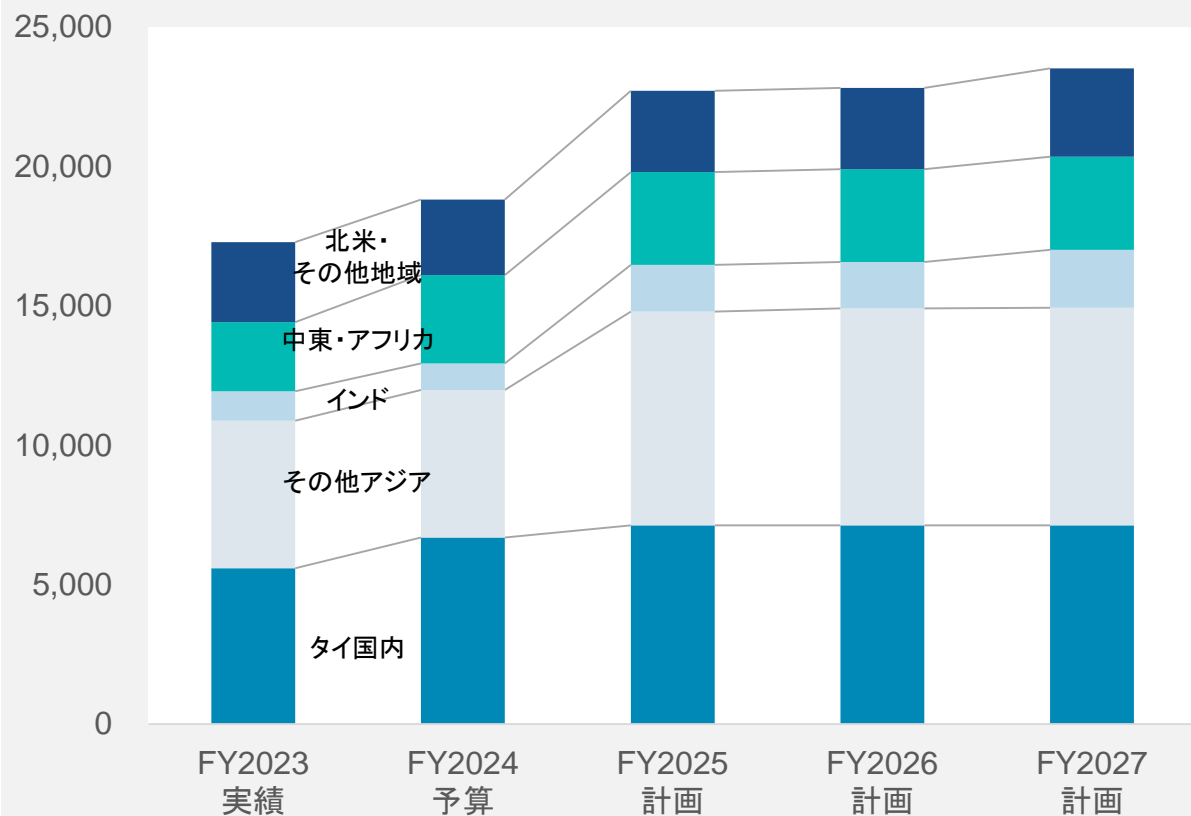
事業利益 (億円)



缶材の成長戦略

日本拠点との二極互換性を強化し、安定数量の確保と新規顧客への拡販を進める

エリア別缶材販売計画推移(千月)



基本的な方針

- 34万トン/年の販売体制確立
- 既存契約の継続と新規拡販の両輪
- 将来の需要変動を見据えてUACJの互換性を拡大し、安定的な供給力を強化

缶材の戦略

- UATH設立時にターゲットとしたエリア(ASEAN地域、インド、中東・アフリカ、その他地域)への拡販に注力
- 販売価格の改定による収益の安定化
- リサイクル推進を通じた環境貢献で高い付加価値を提供
- 安定供給と高い品質を強みに競争力を発揮し、契約交渉



「アルミニウムの循環型社会」の牽引(サーキュラーエコノミー)

- アルミ合金のリサイクル率最大化



気候変動への対応

- カーボンニュートラルへの挑戦 (Scope1, 2)
- サプライチェーン全体でのGHG排出量最小化 (Scope3)



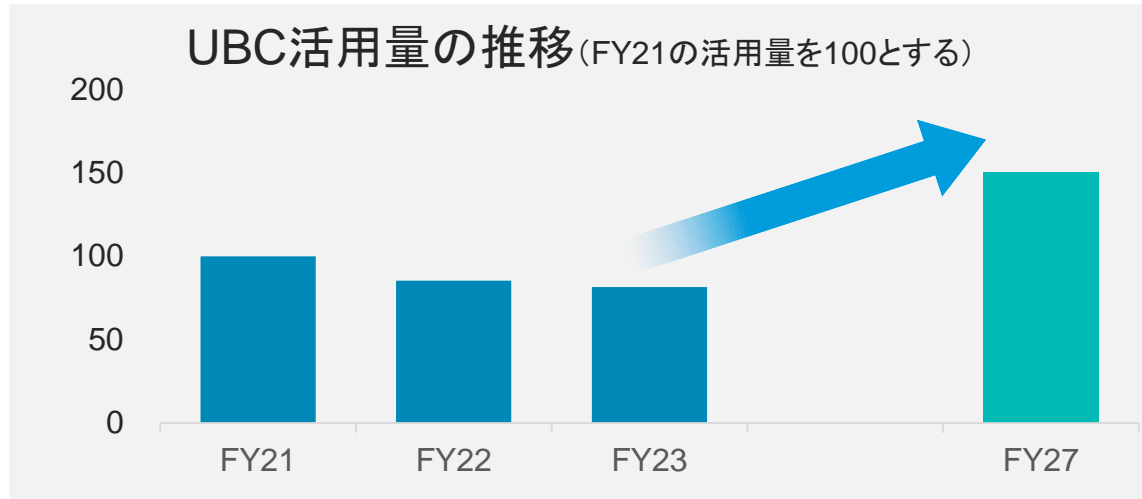
自然の保全と再生・創出(ネイチャーポジティブ)

- 水の有効活用による取水の最小化



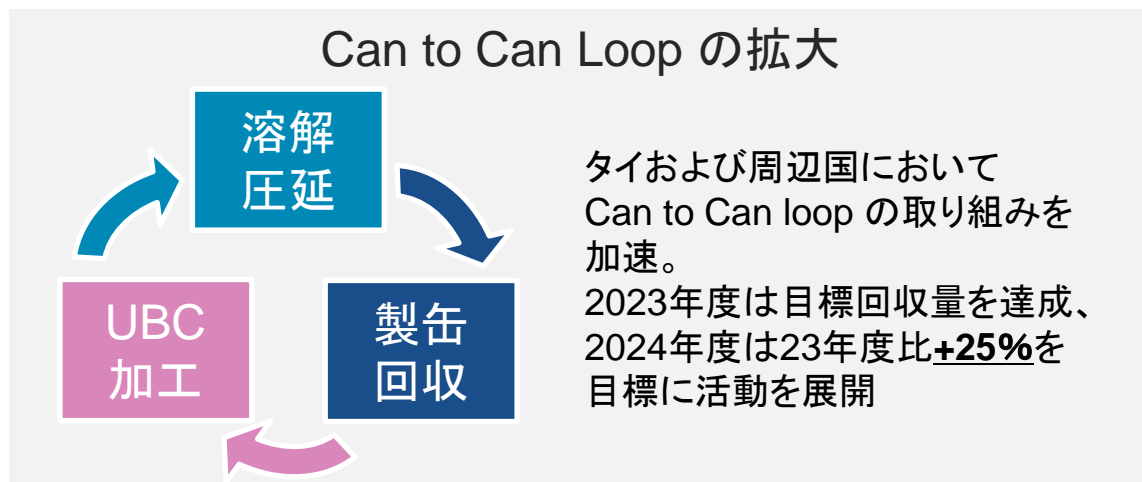
環境負荷低減のための取り組み — リサイクル率最大化に向けて

2024年4月よりリサイクル設備の稼働を開始、UACJリサイクル率*の向上へ



サイドウェル式溶解炉* (Side Well Furnace)

溶湯収容量: Max120ton ※UACJグループ最大容量



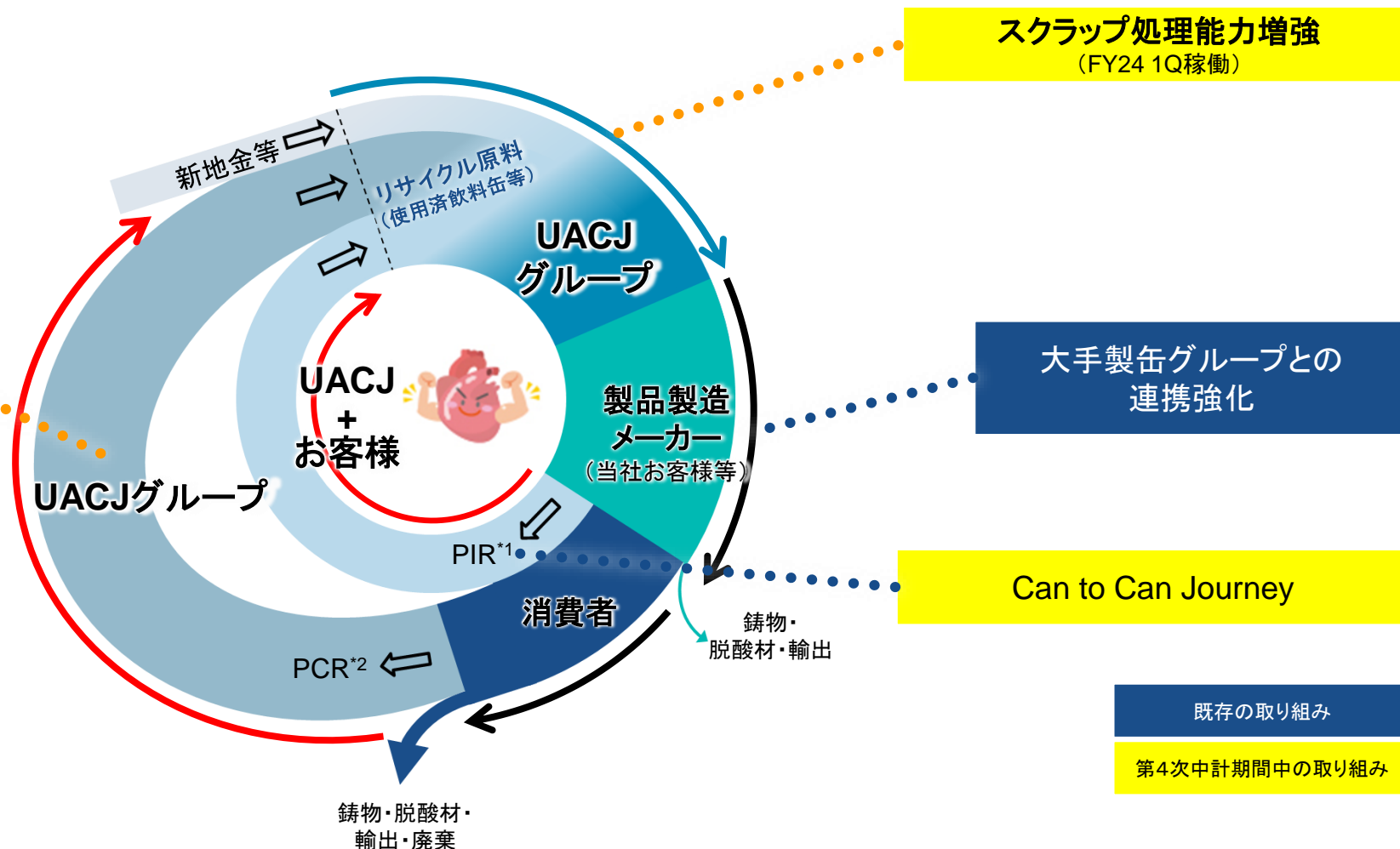
環境負荷低減のための取り組み — Can to Can Journey

UACJグループが目指す「サーキュラーエコノミーの心臓」を、ASEAN地域で実現へ

リサイクル啓蒙活動の強化、深化



UATH内で集積するUBC(使用済飲料缶)



スクラップ処理能力増強
(FY24 1Q稼働)

大手製缶グループとの
連携強化

Can to Can Journey

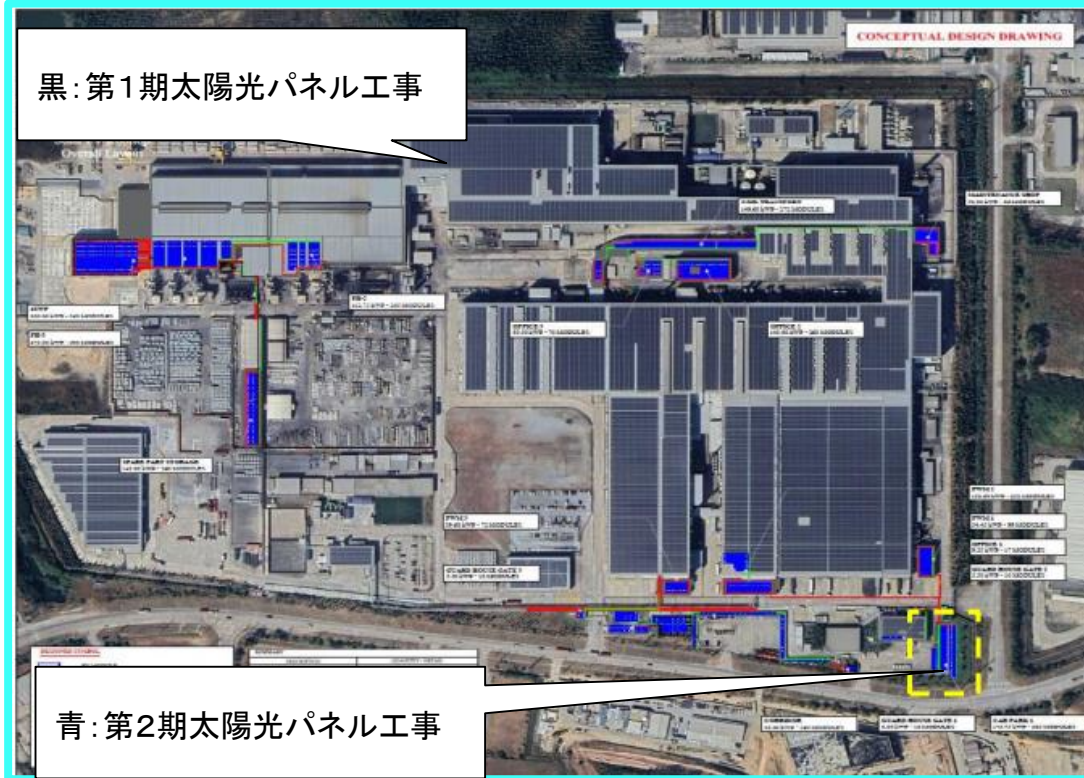
既存の取り組み

第4次中計期間中の取り組み

*PIR Post-Industrial Recycled。製造業での素材の加工段階で発生するスクラップ
*PCR Post-Consumer Recycled。使用済製品に由来するスクラップ

環境負荷低減のための取り組み — 太陽光発電システム 第2期

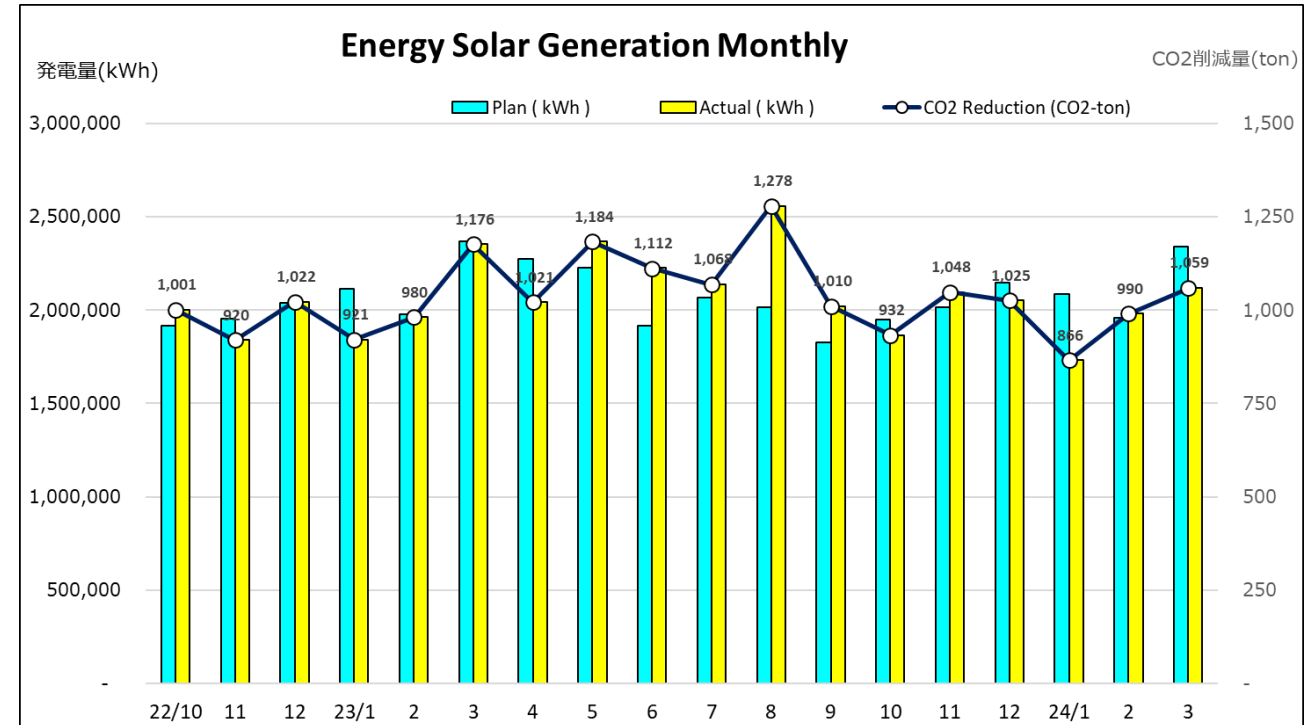
第2期太陽光パネル工事



第1期: 予定通りの発電量を実施
(2022年9月～2023年12月実績: 33,056MWh)

第2期の概要

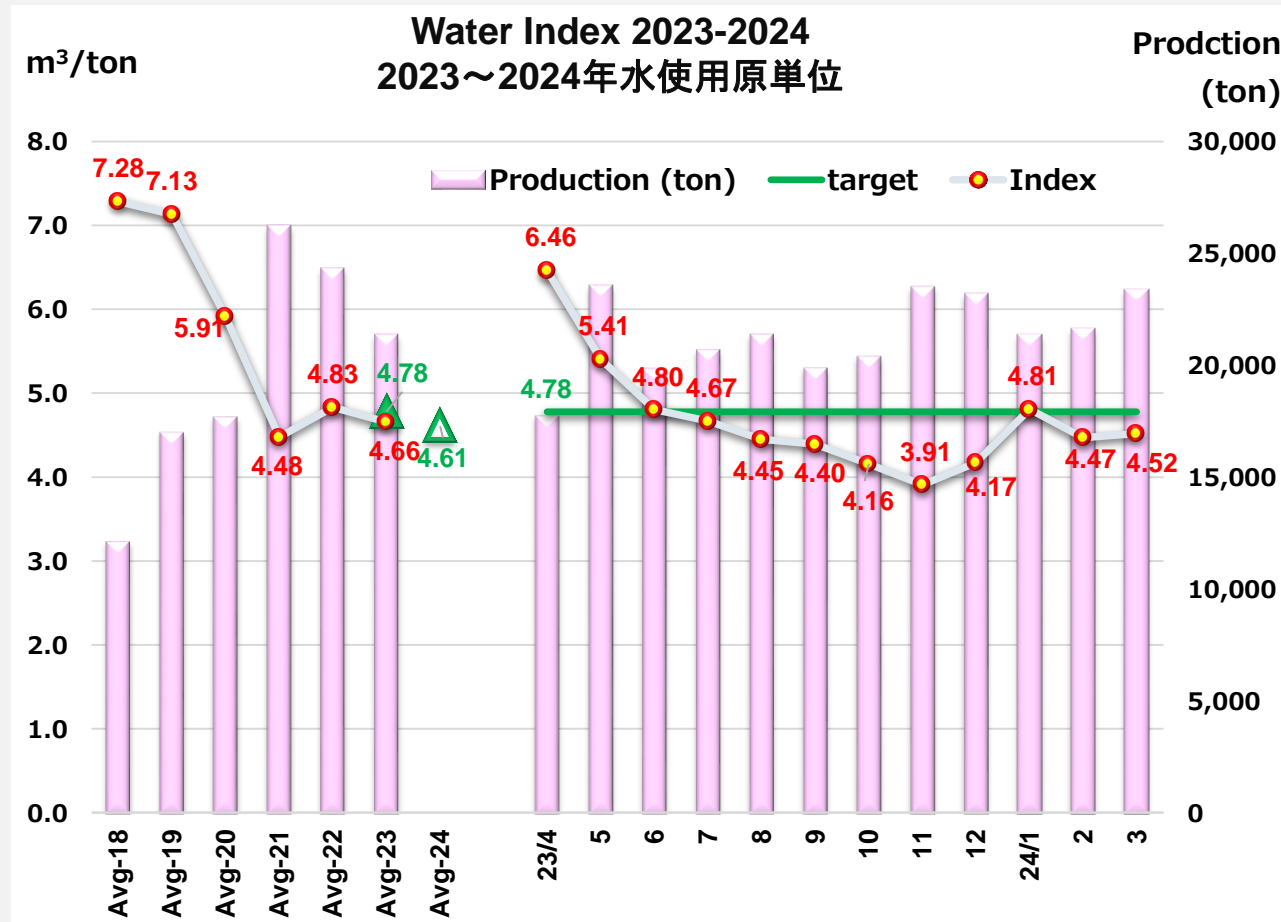
Capacity: 1.83 MW (1期との合計 約20.0MW)
 CO₂ Reduction: 1,153ton/年(1期との合計 15,197ton/年)
 2024年7月から試験発電開始(発電分は使用可能)
 2025年2月までに行政・電力公社への届出を終え、本格的に発電開始予定



2023年度のCO2排出削減量 12,592CO2-ton/年(原単位約5%相当)

今後も、グループ目標達成に向け
再生可能エネルギーの使用量拡大を進める

水資源の有効活用による取水量を削減し、自然の保全と再生・創出に貢献



2023年度の取り組み

水使用量の最適化を意識し、現状把握から削減活動を展開

- 炉の稼働状況に応じた補給水量の調整
 - 設備点検により、排水量を削減
 - 排水リサイクルによる取水量の削減
- 補給水量原単位の低減に成功



「アマタ最優秀廃棄物管理賞2023/AMATA BEST WASTE MANAGEMENT AWARD 2023」において最高位の「プラチナレベル」を5年連続で受賞

企業風土の 浸透

- 理念対話会の継続実施
- “UACJ ウェイ”研修の継続実施
- 方針管理書作成研修の継続と対象とする職制の拡大

人事制度の 改訂

- 人事制度の改訂
 - UATHの実態に応じた人事等級制度のレビューと改訂
 - 評価制度、方針管理、人材育成の連携

人材育成

- 従業員のキャリアパスの見える化で個人のモチベーションを向上
- U-KI*を活用した、個人とチームの成長
- タイ版 ものづくり学園「UMAT」の実現

間接部門 改革

- 後継者育成計画の導入、管理職クラスの長期日本研修の実施
- タレント・マネジメント・システムの導入
- 外国語教育クラスの開講(日本語、英語)



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界